

イベント報告  
ナショナルチャレンジ矢板  
2006年4月8-9日  
栃木県矢板市

# JWOC・ユニバー・WOC 日本代表決まる！

村越 真

全日本の余韻の残る栃木県矢板市で、4月8日(土)9日(日)の二日間にわたり、世界選手権の日本代表選手の選考会が行われ、ジュニア世界選手権(JWOC)ユニバーシアード(世界学生選手権)の選手が選ばれるとともに、シニアの世界選手権(WOC)の一次選考も行われた。

二日間の日程で行われた今回の選考会では、土曜日はウィニングタイムが約20分のスプリント種目、日曜日は同約35分のミドル種目が行われた。ジュニアは独自のコース。またユニバーシアードと世界選手権は共通のコースで代表の座を競いあった。

## 高野美春・宇野夏樹、 連続でジュニアの代表枠を獲得

いずれもかつての世界選手権出場選手を親に持つ高野と宇野(いずれも高校3年生)が、昨年に続いて2年連続でJWOC代表の座を獲得した。いずれも大学1,2年生も含めた選考会の中でのトップ通過だ。今年のJWOCでの活躍が楽しみな選手である。

そのほかには、以下の選手が選考された。注目すべきは、東海高校OLCから伴、岡本、河村という3人の選手が選ばれたことだろう。宇野や高野などのように高校生のJWOC出場は決して珍しくもないものの、部活でオリエンテーリングを始めた選手の高校での出場は久しぶりであり、今後ともがんばってほしい選手だ。これによって、男子は4名が高校生というフレッシュなチームとなった。

なおJWOCは7月上旬にバルト3国の一つリトアニアで開催される。

## JWOC 日本代表選手

宇野 夏樹 (武相高校2年)  
伴 毅 (東海高校2年)  
岡本 将志 (東海高校3年)  
千々岩 瞳 (東北大学2年)  
小見山 斉彰 (千葉大学2年)  
崎田 孝文 (名古屋大学2年)  
河村 健太郎 (東海高校2年)  
高野 美春 (秋草学園高校2年)  
関谷 麻里絵 (京都大学2年)  
阿部 ゆかり (東北大学2年)  
新妻 道 (津田塾大学2年)  
畑岡 祥子 (茨城大学2年)  
松永 真澄 (日本女子大学2年)  
役員 尾上 秀雄、皆川 美紀子



JWOCの代表選手たち。男女各6名が選ばれた(男子1名は所用のため、写真には写っていない)

## 坂本・皆川、貫禄の通過

8月中旬にスロバキアで開催されるユニバーシアード代表は、すでに3月のインカレミドル種目の優勝者が内定しており、それによって早稲田(卒)の今井と日本女子大の石山(卒)が選考されていた。

残りの代表が今回の選考会で選ばれたが、坂本と皆川の圧倒的な強さが目立つ選考会となった。坂本は両日とも、卒2年目(ユニバーは卒業・修了後2年まで参加することができる)の小泉とともに、強さを見せつけたが、小泉が選手を辞退したため、坂本がチームのエースとして走ることになるだろう。

選考会後の一言でも、「選ばれた人はレースで速く走ることを考えてほしい」と、チームの中核としての自覚をにじませた。

一方女子の皆川はこの3月に大学院を修了した。就職を9月に延ばし、半年はオリエンテーリングに賭ける。8日のスプリントこそ番場に水をあげられたものの、ミドル種目では、番場を押さえて堂々のトップタイム。昨年の世界選手権でも初出場ながらスプリントで予選を通過するなど、随所でポテンシャルを見せる彼女が、この夏のようなパフォーマンスを見せるかを期待したい。

また、例年ほとんどが卒業生や大学院生

で占められる選手団にあって、3年生で代表の座あるいは補欠となった茂木、海老、女子では4年生の米谷と中島などの新鋭の今後にも注目したい。

## ユニバーシアード代表選手

男子

今井直樹 (早稲田2006卒)  
小野田剛太 (京都2005卒)  
坂本貴志 (筑波2005卒)  
高橋雄哉 (図書館情報(筑波)5年)  
西尾信寛 (京都2003卒)  
茂木亮彦 (東京3年)

補欠:

海老成直 (中央3年)

女子

石山佳代子 (日本女子2006卒)  
千葉光絵 (宮城学院女子2006卒)  
朴峠周子 (日本女子2006卒)  
皆川美紀子 (東京農工2004卒)  
森澤寿里 (奈良女子2006卒)  
米谷法子 (東京農工4年)

補欠:

中島亜香音 (静岡4年)





学連理事の加賀屋氏より認定状を受け取るユニバーシアード代表選手たち。

## 世界選手権選考会結果

### 男子スプリント(8日)

- 1 紺野俊介 0:20:40 横浜 OL クラブ
- 2 村越 真 0:21:14 静岡 OLC
- 3 加藤弘之 0:21:25 ES 関東 C
- 4 円井基史 0:22:25 多摩 OL
- 5 松澤俊行 0:22:28 三河 OLC
- 6 片山裕典 0:23:52 おいぐす

### 同女子

- 1 番場洋子 0:19:30 HORIBA
- 2 加納尚子 0:20:17 朱雀 OK
- 3 田島利佳 0:21:31 みちの会
- 4 渡辺円香 0:21:53 ES 関東 C
- 5 志村直子 0:22:57 渋谷で走る会
- 6 高野由紀 0:24:35 入間市 OLC

### 男子ミドル(9日)

- 1 紺野俊介 0:37:20 横浜 OL クラブ
- 2 村越 真 0:37:33 静岡 OLC
- 3 高橋善徳 0:39:18 みちの会
- 4 円井基史 0:39:29 多摩 OL
- 5 加藤弘之 0:40:14 ES 関東 C
- 6 多田宗弘 0:40:58 多摩 OL

### 同女子

- 1 番場洋子 0:46:08 HORIBA
- 2 志村直子 0:47:34 渋谷で走る会
- 3 加納尚子 0:47:59 朱雀 OK
- 4 渡辺円香 0:48:13 ES 関東 C
- 5 田島利佳 0:48:58 みちの会
- 6 高野由紀 0:52:32 入間市 OLC

## 紺野、番場、皆川、世界選手権代表に内定

ユニバーシアードが今回本選考だったのに対して、世界選手権は一次選考であり、本選考は5月末ということもあり、ユニバーシアードの選考に比べると、ややのんびりしたムードが漂う選考会であった。実際スプリントの日の男子1、2位のタイムはいずれもユニバー組の小泉・坂本が出したものであったし、女子ではミドルのトップタイムは上にも触れたように皆川であった。

それでも、ロングの一次選考会も兼ねていた全日本を含めた3本すべてでトップを取った紺野がミドル種目の選手として代表一番のりを果たした。また女子では、やはり全日本を押さえた番場、そしてミドルで番場をしのいだ皆川が代表選手として選考された。ヨーロッパに戻った世界選手権で、彼らがどれだけ戦えるか、今年の世界選手権も昨年同様興味深い展開が期待される。

なお世界選手権の最終選手選考会は、5月27日(土)に静岡県沼津千本浜公園でスプリント、28日(日)には同富士宮市でミドル種目が行われる。一般のための併設競技も行われる。ぜひ、彼らの熱い戦いを見ていただきたい。

(村越 真)



5月の本選考を待たずして世界選手権代表に選考された3選手。左から皆川美紀子、番場洋子、紺野俊介。皆川は本格的に就職する9月まで、オリエンテーリングを極めるため欧州に旅立つ。また番場も昨年の秋の「プロ宣言」以来、オリエンテーリングをメインに生活している。彼らの今年の活躍が楽しみである。